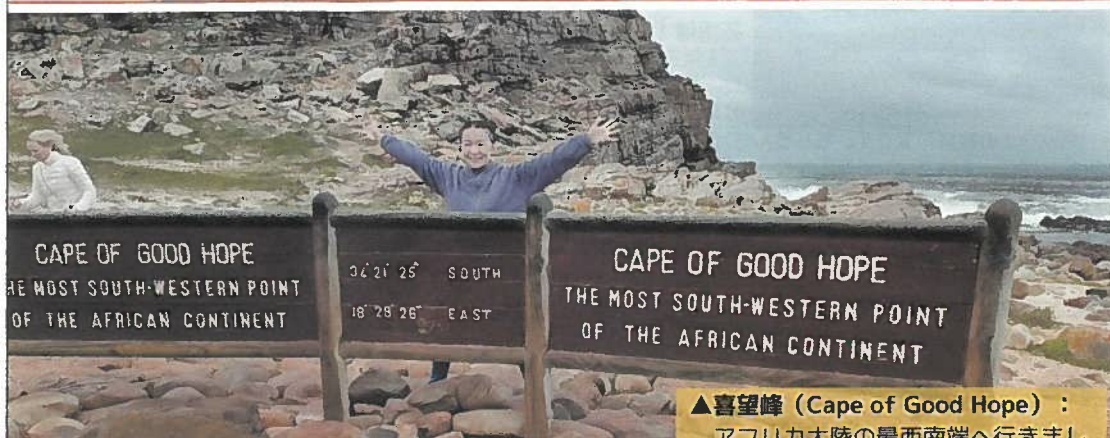


ボツワナ産より



南アフリカ共和国のケープタウンへ

7月始めにお隣の南アフリカ共和国にあるケープタウンへ行きました。ケープタウンは歴史、自然、観光の魅力が詰まった場所でした。

① ネルソン・マンデラの収容されていたロベン島



アパルトヘイト(人種隔離政策)反対の活動家・ネルソン・マンデラ元大統領が27年間の獄中生活のうち18年間に過ごした場所です。語り部の方から南アフリカ共和国の未来を信じ奮闘した若者の様子を聞くことができました。

② カラフルな街並みと悲しい歴史



同じくアパルトヘイトの時代、白人に奴隷として使われたマレー系移民の居住地「ボカーブ地区」です。奴隷解放と同時に、悲しい歴史を塗り替えるように家の壁をカラフルにし、喜びや自由を表現したと言われています。

③ ケープペンギン



最も体の小さいペンギン、ケープペンギンを見ました。暖かい国にペンギンが居るのは不思議ですが、年中ここに居ます。数年前に絶滅危惧種に指定され、保護団体が人工の巣などで個体数回復のため尽力しています。

④ テーブルマウンテン



ケープタウンのシンボル、テーブルマウンテン。地殻変動や侵食により今の形となったそうです。残念ながら天候が悪く頂上へ登ることはできませんでしたが、堂々と奮え立つその姿は、どこから見ても迫力満点でした。

▲喜望峰 (Cape of Good Hope) :

アフリカ大陸の最西南端へ行きました。大航海時代にポルトガル人のバールムュー・ディアスが発見後、ヴァスコ・ダ・ガマがインドまでの海の貿易ルートの開拓に成功し、ポルトガル王国の発展の希望と言う意味を込め名付けられたそうです。このインド洋と大西洋が出会う地は世界自然遺産にもなっており、アフリカの約20%の植物が生息しています。

▶ワイナリーでのワインテースティング:



南アフリカの名産と言えばワイン。フランスやスペインと同じ地中海気候でブドウの生産にはぴったりだそう。

◀日本のラーメン:



観光地のケープタウンには様々な人種があり、多国籍料理を楽しむことができます。なんとアフリカで日本のラーメンを食べることができました！

中間報告会

～1年目を振り返って～

中間報告会とは

派遣半年後：活動計画書の提出
派遣1年後：中間報告会
派遣2年後：帰国報告会

いつも文化や旅行についてばかりで、今回はボツワナだよりに南アフリカ共和国のことを書いてしまいましたが、きちんと任務しています。協力隊は、2年(私のように現職参加の場合は1年8ヶ月)間でどんなことを達成するかを計画します。派遣から1年を迎え、先日「中間報告会」でこれまでの活動を振り返りました。



私の活動計画

- ①ポイ捨て防止の啓発活動
- ②分別回収の開始
- ③生ごみコンポストによる有機栽培促進

第5巻にも書きましたが、これらが私が1年8ヶ月で達成したいことです。これらの計画が決定後、私の活動拠点である小学校と自治会と県庁で計画を進めました。

①ポイ捨て防止の啓発活動

第一回目の授業では、日本の綺麗な街の風景や、高校生が毎日掃除をしている様子、分別ゴミ箱などの写真を見せ、日本人がどのようにゴミを処理しているか紹介しました。



次の授業では紙芝居を手作りし、なぜポイ捨てがいけないのか、どうすれば良いかを考えさせました。「ゴミをゴミ箱に入れる。なければポケットに入れてゴミ箱を見つけたら捨てる」という、ごく簡単な指導をしました。



②分別回収の開始



2つの学校でゴミの分別を始めました！設置の前に英語の歌を使って分別の仕方を教えると、とっても楽しんでくれました。生徒たちは分別を頑張っているものの完璧ではないので、リサイクル業者に回収に来てもらうのは少し先になりそうです。分別ゴミ箱の設置後ポイ捨てがかなり減るという嬉しい変化もありました！



③生ゴミコンポスト



自治体では、みんなで野菜を育てられるよう畑を作りました。家庭から生ごみを持参しコンポストに変えて肥料にします。また生ごみをリサイクルする別の方法として、オレンジの皮を煮詰めたお菓子も作りました。畑を自分たちで管理したり、お菓子作りを家庭で試したりするようになってくれたら嬉しいです。

リアルな苦労話

これまで主に楽しいことや成功談について書いてきましたが、そうではないことも本当にたくさんあります。

No.1 約束や時間を守ってくれない

私が何か頼み事をした時、「じゃあ明日必ずやるよ！」と自信満々に言うのですが、翌日には忘れていたり「今日は忙しいから無理だ」と言われたりします。そしてそれが何日も何週間も続きます。未来のことを計画するのが得意ではない、時間や締切を

重要視しない人が多いためだと思います。張り切って授業やイベントの準備をして行っても「今日だったっけ？」と言われ中止になることもあり、何度も悔しい思いをしました。

No.2 仕事に対する姿勢

ボツワナ人と日本人の働き方には大きな差があります。先生が授業中にも関わらずゲームをしたり、ご飯を食べに行ったりしてしまいます。お店でもスマホを見ながら接客されたりオーダーを正しくとってくれなかったりすることがよくあります。

No.3 お金やものをねだられる

道ですれ違う人や店員、同僚から「そのスマホちょうだい」などとよく言われます。私はお金やモノではなく教育を提供しに来たので、そんな風に見られると悲しくなります。

No.4 モラルや礼儀の違い

隣人が夜に爆音で音楽をかけたり、私の物を勝手に使ったりして困っています。また初対面で「何歳だ」「家はどこだ」「結婚してるのか」などプライベートな質問をしつこくしてくる人も居て、疲れることもあります。